

# 平成30年の火災・救急・救助概況

問い合わせ 火災 予防課 ☎254-0356 FAX256-7755

救急 消防救急課 ☎254-1600 救助 消防救急課 ☎254-1601 いずれも FAX254-1607

## 火災

区分	平成30年	平成29年	増減	
火災件数合計(件)	135	121	14	
火災種別	建物火災(件)	54	54	0
	うち住宅火災(件)	33	30	3
	林野火災(件)	5	7	▲2
	車両火災(件)	11	10	1
	その他の火災(件)	65	50	15
死者(人)	5	3	2	
うち住宅火災(人)	3	3	0	
負傷者(人)	11	12	▲1	

▲は減少を示します。平成30年中の数値は速報値です。

平成30年中に市内で発生した火災は135件で、前年に比べ14件増加しました。火災の種別で見ると、建物火災は54件で、そのうち住宅火災は33件でした。また、火災による死者は5人で、うち3件は住宅火災によるものでした。



火災現場の様子

住宅火災の中には住宅用火災警報器が作動し、早期に119番通報、消火、避難ができたことで大事に至らなかった事例がありました。大切な命と財産を守るためにも住宅用火災警報器を設置し、適切に維持管理しましょう。

## 救急

区分	平成30年	平成29年	増減	
出動件数(件)	16,445	14,901	1,544	
搬送件数(件)	14,934	13,600	1,334	
搬送人員(人)	15,078	13,733	1,345	
主な事故種別	交通(件)	1,324	1,242	82
	一般負傷(件)	2,534	2,369	165
	急病(件)	10,430	9,330	1,100

平成30年中の数値は速報値です。

平成30年中の市内における救急出動件数は1万6,445件で、前年に比べ1,544件増加し過去最多の出動件数となりました。

事故種別で見ると、例年同様急病が1万430件で最も多く、次いで一般負傷の2,534件、交通の1,324件の順でした。また、搬送人員の約半数が軽症者で占められており、中にはタクシー代わりとみられる救急事案も散見されました。

本当に必要な人が救急車を利用できるように、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

## 救助

区分	平成30年	平成29年	増減	
出動件数(件)	138	129	9	
活動件数(件)	93	89	4	
救助人員(人)	96	102	▲6	
主な事故種別	火災(件)	2	1	1
	交通事故(件)	71	71	0
	水難事故(件)	8	4	4
	建物などによる事故(件)	30	28	2

▲は減少を示します。平成30年中の数値は速報値です。

平成30年中の市内における救助出動件数は138件で、前年に比べ9件増加しました。これは、7月の救助出動件数が20件と、他の月に比べ大幅に増えたことによるものでした。

事故種別で見ると、最も多かったのが交通事故の71件で、全体の51%を占めています。

また、近年増加傾向となっている建物などによる事故は、30件発生しています。その多くは、高齢者が建物内に居るが外からの呼び掛けに応答がない、といった内容でした。定期的に離れて暮らす家族の安否確認をしましょう。